

第4学年 国語科学習指導案

1組 男子16名 女子14名 計30名
指導者 藤田君夫

1 単元名 調べたことを知らせよう

2 教材名

中核教材「生活を見つめて」,「表やグラフにまとめる」(光村図書 国語 4下)
補助教材「子どもとテレビゲームの現状」,「子どもの学校外での学習活動に関する実態調査報告(抜粋)」(文部科学省)

3 研究との関わり

本単元を通して育てたい力
<追究力>
○ 課題意識をもって調査し,その結果を表やグラフに表し,それを基にまとめる力を育てる。
<感想力>
○ 結果から読み取ったことを基にお互いの考えを交流し,自分の考えを確かにもつ力を育てる。
<説明力>
○ 調べたことを内容・方法,結果,考察に区別し,適切に書き表す力を育てる。

4 言語活動

目的に応じた材料のまとめ方を工夫し,自分の考えを分かりやすく表したレポートを書くこと。

5 単元の指導目標

- 日常生活の中から,進んで課題を見つけ,自分の考えを書こうとしている。(関心・意欲・態度)
- ◎自分の考えが伝わるように,段落相互の関係を工夫して,適切に書くことができる。(書くこと ウ)
- 文章全体の中での,それぞれの段落の役割を理解する。(言語 オ(イ))

6 単元の評価規準

	関心・意欲・態度	書く能力	言語に関する知識・理解・技能
おおむね達成できる状況	・学習の大まかな流れが分かり,生活の中から調べたいテーマを探そうとしている。 ・活動を振り返り,学んだことを今後の学習や生活に生かそうとしている。	・相手や目的に応じ,段落相互の関係を工夫して,自分の考えを整理しながら明確に書いている。	・「初め」「中」「終わり」の段落にそれぞれ「調べたこと,調べた方法」「調べて分かったこと」「考えたこと,思ったこと」が対応していることを理解する。

7 指導に当たって

(1) 児童について

児童は,これまで「新聞記者になろう」(4年上)で,書く必要のある事柄を収集したり選択したりすることを学習している。また,「アップとルーズで伝える」(4年下)では,文章全体における段落の役割について学習している。

これらの学習を通して,児童は,日記や行事作文,感想文などでは「分かったこと」「印象に残ったこと」などを整理して順番に述べたり,3段落構成を意識して文章を組み立てたりしてきた。また,学習課題を解決するために,グループでの話し合いを役立てる経験を積んでいる。しかし,「終わり」の段落で,「分かったこと」「印象に残ったこと」を繰り返すことや感想にとどまってしまう,自分の考えをもち,それを表現することには十分とは言えない。

このことから,調べたことを基に自分の考えをもち,グループで話し合うことによって,考えの妥当性を検討できる力を付けていき,その考えを「終わり」の段落に書き表すことができるようにしたいと考えた。

(2) 単元について

第3学年及び第4学年の書くことの目標は、「相手や目的に応じ、調べたことなどが伝わるように、段落相互の関係などを工夫して文章を書くことができるようにするとともに、適切に表現しようとする態度を育てる。」である。そこで、本単元では、取材・収集した情報から自分の考えをもち、論理的に整った文章で伝える力を養い、表やグラフを活用して分かりやすく表現する力を育てていく。

「段落相互の関係などを工夫して文章を書く。」とは、第5学年及び6学年の「筋道を立てて文章に書く」ことにつながるものである。

中核教材「生活を見つめて」「表やグラフにまとめる」は、より客観的な調査や研究によって、自分や自分たちの生活への関心を深めていく教材である。アンケートを中心に取材して、表やグラフを使って自分の考えを述べることは、児童にとって初めてである。しかし、「初め」の段落に「調べた理由」「調べた方法・内容」が、さらに、「終わり」には筆者の言いたいことが書いていることが明確で分かりやすく、レポートの様式を学ぶことや自らの生活を振り返るのに適した教材である。

補助教材「子どもとテレビゲームの現状」「子どもの学校外での学習活動に関する実態調査レポート（抜粋）」では、児童の生活に関わる各種調査を参考にすることができる。児童が自分の生活を見つめ直す上での視点を与えるのに適した教材である。

このような教材で、調べたことのまとめ方を工夫して、話し合いを通して自分の考えを整理しながら明確にレポートに表現する言語活動を取り入れるならば、児童は、自分の考えが伝わるように、段落相互の関係を工夫して、適切に書く力を高めていくであろう。

(3) 指導について

本単元では、レポートを書くという言語活動を軸としている。補助教材の調査や報告から、課題意識を高め、中核教材「生活を見つめて」を参考にして、アンケートの作り方やレポートの書き方を学習できるようにする。そして、調査で分かったことを基に、自分の考えを明確にし、段落構成を考えたレポートを書くことができるようにする。

①「見通す段階」

＜追究力＞ 自分の日常生活に関心をもって見つめ直し、調べることができるようにする。

補助資料のなかから、いくつかのアンケート結果やレポートを示す。そのことにより、自分の生活を客観的に見つめることや、調査を行ってレポートを書く学習に対して興味・関心をもつことができるようにする。学習を進めるに当たっては、教材文「生活を見つめて」の小見出しに沿って学習を進めていくことを確認する。

②「深める段階」

＜追究力＞ 学習の目的に対する意欲をもち、必要な調査方法や伝え方を学ぶことができるようにする。

主教材のようなレポートを書いて互いの考えを知り、生活を見つめ直すことを具体的な学習課題としてとらえることができるようにする。

ここでは、「生活を見つめて」を読み、アンケートの作り方やレポートの「初め」「中」「終わり」が、それぞれ「調査内容・方法」「調査結果」「考察」に対応していることを理解できるようにする。特に、「終わり」の段落では、調査結果から自分の考えをまとめて述べるのが理解できるようにする。また、自分の考えをよく表現できるように、表とグラフのそれぞれのよさを活用することもできるようにする。

③「まとめる段階」

＜追究力＞ 自分の課題を設定し、適切な方法で調べることができるようにする。

＜感想力＞ 調査結果を基に、自分の考えをもつことができるようにする。

＜説明力＞ 調べたことを内容・方法、結果、考察に区別し、段落に分けて書く力を育てる。

自分たちの生活を課題意識をもって見つめ直し、アンケートを通して考えたことをレポートの形にまとめるようにする。

日常生活の中から調べたいことを決め、アンケート調査を行うことができるようにする。本単元では、3段落構成の「終わり」の段落に調査結果から言える考えを述べることになっている。「終わり」の段落で考えを書く学習は初めてなので、生活に関わることに絞るものの、児童の調べたいことに対する関心・意欲を十分生かす。そのため、調べたいことが同じ者同士でグループを作り、グループ内で相談して学習を進めていく。ただし、支援の必要な児童がグループに埋没しないように、ノートやメモ、活動の観察から児童の学習状況を的確に把握し、きめ細やかな個別の支援を工夫する。

調べたり、調べたことをまとめたりするに当たっては、その調べたいことへの関心を高め、予想などを十分ふくらませるようにしたい。そのうえで、選んだ理由や疑問を「初め」の段落に書き表していく。「中」の段落を書くためには、アンケート調査から改めて気付く点や新しい視点などに気付かせていく。アンケート結果に対して、課題意識をもって、さらにインタビューなどをして詳しく調べるようにする。さらに、「終わり」の段落で自分の考えを書くために、グループでの話し合いを通して多様な考えにふれ、自分の考えを明確にできるようにする。そして、段落構成と論理的な考えを述べている作品を参考にし、自分の考えを明確に論理的に書く力を育てたい。

④「広げる段階」

＜説明力＞ 考えを交流し、自分の考えを深める力を育てる。

本単元の学習の成果を振り返る段階である。

レポートをじっくり読み、お互いの視点の違いや考えの違いに気付くことができるようにする。このことを通して、自分の考えを分かりやすく伝えようとする態度とともに、相手の考えを尊重する態度も育てたい。

8 単元の学習計画及び評価計画（16時間）

段階	時間	学習活動・学習内容	指導上の留意点	具体的評価規準 (評価方法)
見 通 す	1	<p>学習の目標を立てよう。</p> <p>1 学習の見通しをもつ。 ○教材文を読み、学習の概要と大まかな学習の流れを知ること。 ○新出漢字・難易語句を知ること。</p>	<p>○いくつかのアンケートを示し、学習に興味をもてるようにする。</p> <p>○関心・意欲を高めるような作品を見せて具体的な目標をもたせるようにする。</p> <p>○教材文の小見出しに沿って学習を進めていくことを確認する。</p>	<p>関 学習の大まかな流れが分かり、レポートを書こうとしている。 (観察・発言)</p>
深 め る	2 3	<p>アンケートの仕方やレポートの書き方について学ぼう。</p> <p>1 レポート作りについて知る。 ○教材文を読んでレポートの概要をとらえること。 ○自分の考えの書き表し方を知ること。</p> <p>2 アンケート作りについて知る。</p>	<p>○「始め、中、終わり」の構成で書いていることに気付くようにする。</p> <p>○「終わり」の段落に分かったことを書いていることに気付くようにする。</p> <p>○表とグラフのそれぞれのよさを用途に合わせて用いることを理解で</p>	<p>関 学習の大まかな流れが分かり、アンケートの作り方やレポートの書き方に関心をもっている。 (観察・発言)</p>

	○教材文を読んで、アンケートの作り方をつかむこと。	きるようにする。	
ま と め る	4 生活の中で、疑問に思ったことや調べてみたいと思ったことを出し合い、調べたいことを決めよう。 1 調べたいことと、調査内容、調査方法を定める。 ○グループごとに学習計画を立てること。	○興味のあることを出し合い、学習に意欲をもてるようにする。 ○興味、関心の同じ者同士でグループを編成し、学習活動への意欲付けとする。 ○それぞれの調べたい理由を明らかにできるようにする。	書調べたいこと 理由を明らかにしている。 (観察・発言・ノート)
	5 調べ方を考えよう。 1 調べ方を詳しく決める。 ○調査内容に対して複数の答えを予想すること。 ○どんな調べ方にするか考え、話し合って決めること。 ○「調べたこと」「調べた方法」「調べて分かったこと」を構成メモに表す。 2 レポートのためのメモを書く。 ○「中」の段落の構成メモを書くこと。	○調べたいことについての話し合いから、調査内容を具体化できるようにする。 ○ここで考えた答えの予想をアンケートの項目にする。 ○自分なりの予想をもたせ、構成メモの中に述べるようにする。 ○構成メモを「初め」「中」「終わり」と対応させることを理解できるようにする。	書調べたいこと に適したアンケートを作っている。 (アンケート)
	6 アンケートをしよう。 1 アンケートを作る。 ○質問したい項目を分類して、整理すること。 2 アンケートを集計する。 7 ○正確に集計すること。	○教科書の「たいせつ」を参考にし、アンケート作りで大切なことを押さえる。 ○回答には、朝の会など授業時間外も利用する。 ○「調べたこと」「調べた方法」をメモする。	書調べたいこと やアンケート結果を目的に応じて整理し、グラフや表などの資料にまとめている。 (発言・ノート)
	8 くわしくインタビューしよう。 1 アンケートを補足する。 ○結果から疑問な点についてインタビューをして解決すること。 2 メモにまとめる。 ○分かったことを構成メモに書いてまとめること。	○アンケートには記名させ、インタビューできるようにする。 ○アンケート結果をさらに詳しく調べるためにインタビューをして内容を補足できるようにする。	
	9 分かったことを表やグラフに表そう。 1 アンケート結果を表す。 ○集計結果がよく伝わる表やグラフを選び、表すこと。	○「表やグラフにまとめる」を読み、目的に応じたまとめ方について知る。 ○簡単にグラフが作れるよう、グラフの復習、グラフ用紙の準備など	

	2 分かったことを書く。 ○調査結果から分かったことを自分でまとめること。	の支援をする。 ○「調べて分かったこと」をメモする。	
10	アンケート結果から自分の考えをまとめよう。 1 自分の考えを書く。 ○「考えたこと、思ったこと」をメモすること。 ○自分なりの感想や考えをもつこと。	○教材文を参考にして、自分の考えを含めるようにする。 ○アンケートの結果と合う考えをもつようにする。 ○よりよく書くためにグループでの話し合いが有効であることを意識できるようにする。	書 アンケートの結果から分かることを基に、適切な文章表現を使い、自分の考えを整理し、明確にすることができている。 (メモ・発言・ノート)
11 (本時)	「考えたこと、思ったこと」のメモに自分の考えをはっきり書こう。 1 交流する。 ○グループ内の話し合いを基に自分の考えを明確にもつこと。 2 書き直す。 ○話し合いをもとに、「考えたこと、思ったこと」のメモを書き直すこと。	○グループで話し合い、構成メモをふくらませるようにする。 ○お互いの考えを大いに認め合うようにする。 ○自分の考えをもてなかった児童が、他の考えを参考にしてもてるようにする。 ○事前に児童のメモを把握し、個に応じて支援する。	
12 13	自分の考えを分かりやすく書こう。 1 下書きをする。 ○表記の仕方に気を付けて文章化すること。 2 清書する。 ○丁寧な字で清書すること。	○教材文を参考にして改行や小段落について気を付けるようにする。 ○グループ内で読み合い、直すことで、正しい表記について学ぶ。	書 相手や目的を明確にし、段落構成を考えて、わかりやすい文章を書いている。 (作品)
広げる 14 15	ほかのグループのレポートをよく読もう。 1 他のレポートを読む。 ○お互いのレポートを読み合うこと。	○調べたいことが同じグループのレポートから、考えの相違や共通を読み取るようにする。 ○調べたいことが違うグループのレポートから、考えのまとめ方を読み取るようにする。	関 活動を振り返り、学んだことを今後の学習や生活に生かそうとしている。 (発言・ノート・感想カード)
16	感想や考えを交流し、学習を振り返ろう。 1 考えを交流する。 ○グループで話し合い、感想や意見を交流すること。 2 学習を振り返る。 ○学習を終えての感想カードを書くこと。	○自分の感想や意見をもった上で、様々なとらえ方にふれるようにする。 ○論理的に述べられた考えは、自分と異なる考えでも認めることができるようにする。	

9 本時の学習 (11/16時)

(1) 目標 友だちの考えを参考にして、「構成メモ」に自分の考えを整理することができる。

(2) 展開

段階	学習活動・学習内容	形態	指導上の留意点	具体的評価規準 (評価方法)
導入 5	1 本時の学習の流れとめあてを確認する。 ○本時の学習内容と学習活動をつかむこと。		○前時に書いた構成メモの中から、「考えたこと、思ったこと」がよく書けているものを学習リーダーと一緒に紹介し、学習の意欲付けにする。 ○構成メモをよりよくするために、有効な活動が話し合いであることを児童が指摘できるようにする。	
「考えたこと、思ったこと」のメモに自分の考えたことを書こう。				
展開 33	2 自分の考えを発表する。 ○「考えたこと、思ったこと」を発表すること。 ○話し合いのポイントをはっきりさせること。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <話し合いのポイント> ①アンケートの結果と合っているか。 ②自分なりの感想や考えをもっているか。 </div> 3 話し合いの様子を発表する。 ○交流を通じて気がついたこと、分かったことを紹介すること	グ 全	○お互いの考えが、アンケートの結果から言えることであるかを気を付けるようにする。 ○単純な感想でも、書いていることを大いに認め合うようにする。 ○検討することは、論理や表現だけにとどめ、考えの相違はお互いに尊重するようにする。 ○納得できる他の考えは、取り入れてよいことにする。 ○話し合いがポイントからずれないように助言していく。	書 アンケートの結果から分かることを基に、自分の考えを整理し、明確にすることができる。
	4 話し合いをもとに構成メモを修正する。 ○話し合いの内容を反映させること。	個	○話し合いをもとに、メモに自分の考えを書かせる。 ○事前に各自のメモを把握し、個に応じて支援する。 ○特に修正の必要がない場合は、文章化に取り組みさせる。	
終末 7	5 学習のまとめをする。 ○構成メモを発表すること。 ○書き直したところを明らかにすること。 6 次時の学習の予告をする。 ○次時の学習の見通しをもつこと。	全	○書き直した方が、考えが整理され、明確になったことを実感させる。 ○話し合いによって、よく書き直すことができたかを振り返るようにする。 ○次時は、下書き、清書に進むという見通しをもたせる。	